

が懸念。十分な説明と対応が必要。

賛成討論主旨

飯田正義

子育てや教育等の生活直結予算を評価するとともに、湯沢高原ロープウェイ存続のための基金創設については、過去の貢献への感謝や観光価値の維持、財政の透明性確保の観点から賛成。観光推進を民間主導で進め、行政に頼らない持続可能な観光地経営の発展を図るべき。

賛成討論主旨

岸野雅人

長い目で見れば、町長の今任期中は、利他的で使い過ぎ。その意味で令和7年度当初予算同様に基本的には反対です。しかし以前から提案していた、出産関係の助成が含まれること、すでにここまで進んだ湯沢高原の譲渡交渉を考慮し、「反対もならん」との判断から賛成をする次第です。

賛成討論主旨

富沢雅文

湯沢高原については湯沢観光のシンボルの存在である反面、その捉え方については各地域において温度差がある。しかし、仮に湯沢高原が休止した場合、その影響は町全体に及

ぶ。そうした視点を踏まえると12億円は大変高額ではあるが、今回の予算には賛成をせざるを得ない。しかし、この投資を一部地域の利益とせず、町全体におよぶ利益に繋げる必要がある、その実現にはまちづくり機構の役割が大きい。

病院事業会計

反対討論主旨

水谷幸乃

医療機器の入れ替えに約7千万円の予算計上されている。病院への一般会計繰入金も増額になっている中、行政側は維持管理費を含めた財政負担を検討し精査すべきである。安心安全な医療を受けられることが大前提ではあるが、今後行政側は投資する医療機器が適材適所となっているのか、費用対効果、中長期的なコスト管理を考える義務があると考え、本予算に反対する。

湯沢町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

反対討論主旨

岸野雅人

報酬引き上げの審査会答申は誠に有難く思うが、健全財政からの後退と各種公共料金値上げ、さらに法定

外目的税である宿泊税の導入、これらの前に選挙で選ばれた者が自らの報酬を真っ先に上げるべきとは私は考えない。もし引き上げるのであれば、町民負担増加の後の皆様ご理解のうえでと考える。

賛成討論主旨

南雲あや子

本議案は、報酬等審議会の答申に基づき議員報酬を引き上げるもの。議員の報酬は長年据え置かれ、現行水準では生活と議員活動の両立が難しく、担い手不足の一因と考えられる。人口約8千人の町において多様な人材確保は重要であり、予算規模や責任の重さからも適正な報酬確保は必要。妥当な見直しとして賛成。

湯沢町常勤特別職の職員に対する給与条例の一部を改正する条例

賛成討論主旨

南雲あや子

本議案は、報酬等審議会の答申に基づき常勤特別職の給与を引き上げるもの。人口約8千人の町において約92億円の財政運営を担うには、広範で高度な責任と判断が求められる。安定した町政運営と人材確保の観点からも意義があり、本議案に賛成。

賛成討論主旨

飯田正義

常勤特別職だけでなく議員の報酬引き上げに対し、増額をさらなる成果を出すべき重い責任と自分へのプレッシャーであると認識している。さらなる意欲を持って職務への適進と覚悟を込めて賛成する。

湯沢町地下水採取の規制に関する条例の一部を改正する条例

賛成討論主旨

富沢雅文

この度の5千平方メートル以上の土地において3本までの掘削を認める改正については賛成。しかし今後さらに地下水の保全と、より効率的な活用を両立できるよう、融雪面積に応じて許可水量を設ける方式を導入しつつ、井戸のケーシング口径と揚水機の吐出口径の拡大と併せて、三俣、三国地区など降雪量が多く、気温が低い条件不利地域について配慮した改正を望む。